

 **太陽ホールディングス株式会社**
TAIYO HOLDINGS CO., LTD.

〒176-8508 東京都練馬区羽沢二丁目7番1号
TEL: 03-5999-1511 (代表) FAX: 03-5999-1501
<http://www.taiyo-hd.co.jp>

未来が変わる。日本が変わる。
チャレンジ 



 **太陽ホールディングス株式会社**
TAIYO HOLDINGS CO., LTD.

CSRレポート

2012

Corporate Social Responsibility Report 2012

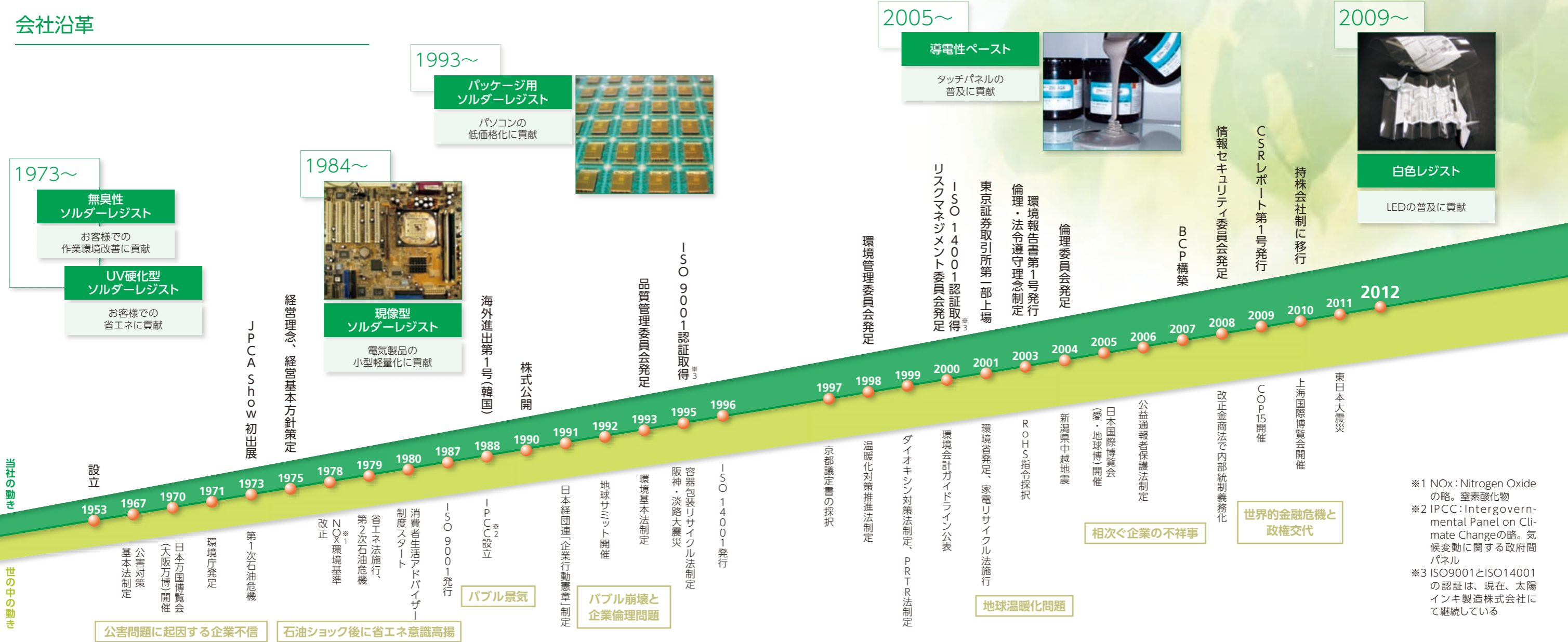
社会を照らす、未来を照らす



明日の地球にできること

太陽HDグループは、ソルダーレジストのトップメーカーです。
 太陽HDグループの製品は、一般の方の目に触れる機会は多くありませんが、
 家庭やオフィス、その他生活のあらゆる場所で使用され、安全で豊かな暮らしを支えています。
 ステークホルダーから信頼され、共感される企業であり続けるために、
 これからも事業を通じ、社会の持続的な発展に貢献していきます。

会社沿革



編集方針
 本レポートでは、太陽ホールディングスグループ(以下、太陽HDグループ)のものづくりを通じての社会貢献について説明し、続けて「マネジメント」「社会性報告」「環境報告」の3章を柱に構成しています。また、専門的でわかりにくい用語については、「用語解説」を設けて説明しています。

対象期間・対象範囲
 対象期間は、2011年度(2011年4月1日~2012年3月31日)です。対象範囲は、太陽ホールディングス(以下、太陽HD)本社ならびに21、22ページに記載の太陽インキ製造(以下、太陽インキ)、太陽HD嵐山事業所のマネジメント・社会性・環境の3側面における活動です。対象期間および対象範囲が異なる場合は、該当箇所に別途記してあります。

発行年月
 2012年6月(次回予定:2013年6月)

CONTENTS

- 3 トップコミットメント
- 3 プロフィール
- 5 特集：“太陽ブランド”ものづくりを通じて、社会から信頼され、共感される企業を目指します

マネジメント

- 7 2011年度CSR活動の実績と今後の目標
- 8 経営理念とCSR理念
- 9 コーポレートガバナンス
- 9 コンプライアンスに関する取り組み
- 10 リスクマネジメントに関する取り組み

社会性報告

- 11 株主の皆様との関わり
- 12 お客様との関わり
- 12 お取引先との関わり
- 13 地域・社会との関わり
- 15 社員との関わり

環境報告

- 17 環境方針と環境マネジメントシステム
- 17 環境対応製品・化学物質に関する取り組み
- 19 事業活動と環境との関わり
- 20 環境保全活動
- 21 法規制測定データ集

トップコミットメント

太陽HDグループは「新たな事業の創出」で、社会的責任を果たしていきます

新体制となり2年目、新たなステージへ

当社は、太陽HDグループの企業価値のさらなる増大を目指し、2010年10月に持株会社制へ移行し、「監督と執行の分離による意思決定機能の迅速化」「グループ経営機能の強化」「機動的かつ柔軟な組織再編の推進」を図っています。

新体制は2年目を迎え、当社グループの掲げる経営戦略のもと、グループ各社ではローカルマーケットに根付いた独自性が見え始めています。この中から新たな事業が創出されるものと確信しています。

なお、当社グループでは大きく変化する事業環境と新たな成長戦略を実現すべく、新中期経営計画の策定に着手しています。

今後は、ソルダールレジストにおける世界のリーディングカンパニーとしての優位性のもと、世の中で起きる「イノベーション」を自ら起こすべく、私たち太陽HDグループ全社員の「技術力」を集結し、新事業展開を推進していきます。

経営におけるCSR

当社グループでは、「雇用を生み出し続ける」ことが企業の責任であると、私は考えています。新たな事業を創出し、雇用を生み出し続ける、そして世の中の人々が求める最高の価値ある製品を提供し続けること——これが当社グループのCSRの本質といえます。

個々のCSR活動については、太陽HDおよび太陽インキが中心となり、課題や目標を掲げ継続しています。2011年度は、東日本大震災の後ということもあって、リスクマネジメントに関する活動と電力削減対策を中心とした環境活動に特に注力しました。この震災をきっかけに、日本の産業界では製品供給責任が注目されましたが、当社グループでは、複数拠点で製品を供給できる体制を整えています。今後はお客様のご理解ご協力を得ながら、さらなる供給体制の整備を進めていきます。

また、海外グループ会社に対しては、今まで以上にCSR活動の裾野を広げるための体制を整えていきます。コンプライアンスや環境配慮など、社員一人ひとりが自主

的に課題を掘り起こし、自ら解決に取り組むなど、積極的に自立した人材の育成にも取り組んでいきます。

スピード&コミュニケーション

今後ますます増大するグローバルな事業展開のなか、CSRを含めたグループの戦略や施策を、「スピード」をもって的確に当社グループの全社員と共有しなければなりません。

また、ステークホルダーの皆様とは、今後も「コミュニケーション」の充実を図りたいと考えています。このコミュニケーションのなかから当社グループへの期待や課題が見つかるものと考えています。

そして、私たち太陽HDグループの全社員はグローバル競争や時代の変革に、この「スピード&コミュニケーション」の方針のもと積極的に立ち向かい、企業価値のさらなる増大を目指し、世界の皆様から共感され共生できる太陽HDグループへと成長していきます。

代表取締役社長 佐藤 英志



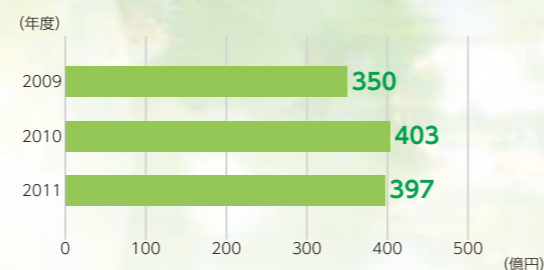
プロフィール

1953年より、未来を見据える力と確かな技術力で事業を展開してきた太陽インキ製造株式会社は、2010年10月1日から持株会社制へ移行し、「太陽ホールディングス株式会社」として次の時代への躍進を目指しています。

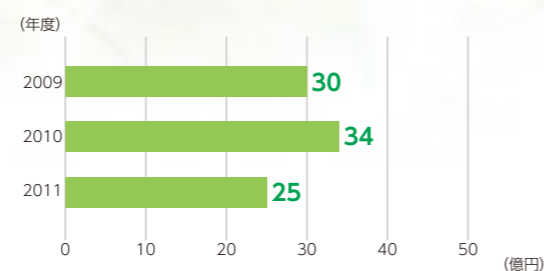
会社概要

社名：太陽ホールディングス株式会社
英文社名：TAIYO HOLDINGS CO., LTD.
本社所在地：東京都練馬区羽沢二丁目7番1号
TEL.03-5999-1511(代表)
設立年月日：1953年9月29日
事業内容：持株会社、グループ全体の経営方針策定および経営管理
資本金：61億3,490万円
従業員数：連結861名/単体97名
(2012年3月31日現在)

■売上高の推移(連結)



■当期純利益の推移(連結)



国内・海外拠点

太陽HDグループは、電子部品、エレクトロニクス業界向けを中心とした化学品の製造・販売を主な事業としています。

- 太陽ホールディングス株式会社



本社

〈開発・生産拠点〉

- 太陽ホールディングス株式会社 嵐山事業所

〈生産・販売拠点〉

- 太陽インキ製造株式会社
- 台湾太陽油墨股份有限公司
- 韓国タイヨウインキ株式会社
- 太陽油墨(蘇州)有限公司
- TAIYO AMERICA, INC.

〈販売・サービス拠点〉

- 太陽物流株式会社
- TAIYO INK INTERNATIONAL (SINGAPORE) PTE LTD
- TAIYO INK (THAILAND) CO., LTD.
- TAIYO INK INTERNATIONAL (HK) LTD.
- 太陽油墨貿易(深圳)有限公司

“太陽ブランド”ものづくりを通じて、 社会から信頼され、 共感される企業を目指します

太陽HDグループのものづくり。その目指すところは、“ステークホルダーの皆様の満足”です。安心・安全な製品を確実に提供するために、サプライチェーンの各段階で品質の安定化に取り組んでいます。

日本
太陽インキ製造株式会社

太陽HDグループのマザー工場として

埼玉県比企郡嵐山町に位置する太陽インキの本社工場は、「品質の安定・向上」「生産性向上」「作業環境改善」「地球に優しいクリーンな工場」という4つのコンセプトに基づき竣工しました。

先端の工程管理システムや自動制御の空調システム、クリーンルームによる異物混入の防止など品質向上への取り組みを積極的に進めるとともに、溶剤再生装置や脱臭設備の設置、氷蓄熱による空調電力削減などの環境負荷低減に取り組むことで、太陽HDグループのマザー工場にふさわしい事業活動を推進し、お客様に満足していただける、高品質で価値ある製品を提供しています。




中国
太陽油墨(蘇州)有限公司

クリーン生産促進法に準拠した活動

太陽蘇州では、年々厳しくなる環境規制対応とお客様満足度向上のため、新製品のハロゲンフリー化を推進できるよう、蛍光X線分析装置を導入し社内でハロゲン含有量測定が可能になりました。

また、近年中国ではクリーン生産促進法に準拠した事業活動に対する要求が高まっていることから、社内にクリーン生産促進プロジェクトを発足し活動しています。今年度は、溶剤再生装置の導入による廃棄溶剤の削減、照明のLED化による電力消費の削減、蒸気ボイラーの廃熱再利用によるガス消費量の削減など一定の効果が確認できました。今後もクリーン生産促進プロジェクトの活動を通じて環境保護に努めていきます。



韓国
韓国タイヨウインキ株式会社

多様なニーズに応える、新環境製品の提供

韓国タイヨウインキは製品の設計段階から生産、使用、廃棄までの環境影響を最小化するために、原料の納入時から法規制物質および国際規制物質、お客様の顧客規制物質に対し徹底した検証を実施しています。製品においても特定有害物質などについて周期的な分析を実施し、規制物質の不含有に対するクロスチェックを行っています。

また当社では、お客様の使用時に発生する廃棄物の大幅な減少および工程コストの削減が可能な各種フィルムおよびインクジェット用インキ、新環境エネルギーの太陽電池用ペーストの開発、販売拡大に力を集中させ、美しい環境を新しい世代に残すことができるように力を尽くしています。



台湾
台湾太陽油墨股份有限公司

電子部品づくりで、便利で豊かな社会に

台湾は様々な電子機器の発展とともに、その電子部品の重要な生産拠点となっています。台湾太陽もこの台湾でソルダーレジストを開発、製造、販売し、電子機器の発展に寄与してきました。現在、スマートフォンやタブレットPCなどの進化の激しい製品においても当社の製品は数多く使用されています。これは当社の高い技術力と市場の変化にマッチしたスピード感あふれる対応力によるものです。

これからもお客様とのコミュニケーションとスピード感をもって環境に配慮した高性能・高品質な製品を生み続け、ものづくりを通じ、人々の生活がより便利に、より豊かになっていくことで社会貢献を果たしていきます。



米国
TAIYO AMERICA, INC.

お客様の安全性重視のものづくり

太陽アメリカは、鉱業および観光業を主産業とするネバダ州でスペシャリティケミカル製品の製造工場として、操業開始の1995年から地域産業の多様化、ならびに雇用の維持に貢献しています。

また当社が担当する市場のひとつである欧州は、最も化学品規制が厳しい地域のひとつですが、2011年に当社が使用する成分の有害性ランクが引き上げられました。当社では全社一丸となり、この規制をクリアできる製品の企画、開発を行い、結果、競合他社に先がけてPSR-4000 PRSMという新製品を2012年2月にサンディエゴで開催された展示会「IPC APEX EXPO 2012」に発表し、お客様の安全性を重視した当社の姿勢を示すことができました。



2011年度CSR活動の実績と今後の目標

「CSR理念」と「行動規範」に基づき、2011年度の主な活動実績と、2012年度の課題・目標についてまとめました。個々の取り組みの詳細につきましては、各掲載ページをご覧ください。

☺:目標達成 ☹:着手したが未達成 ☹:未着手

取り組み項目	2011年度の課題・目標	2011年度の主な活動実績	評価	2012年度の課題・目標	掲載ページ
内部統制システム	●システムの有効性と効率性の向上	●一部業務プロセスを見直し、有効性を向上 ●内部統制業務全般の運用について効率性を向上	☺	●システムの有効性と効率性の向上	P9
コンプライアンス	●倫理法令遵守に関する啓発活動の継続推進 ●リスク調査の実施 ●相談案件の迅速な対応 ●コンプライアンスマニュアルの見直し	●e-ラーニングによる教育の実施 ●リスク調査を実施 ●相談に対する速やかな対応体制を整備 ●コンプライアンスマニュアルの改訂	☺	●社員教育による倫理法令遵守に関する啓蒙活動の継続推進 ●リスク調査結果の対応 ●ガイドラインの見直し ●海外子会社を含めた太陽HDグループE&Cシステムの調査	P9
リスクマネジメント	●リスクマネジメントマニュアルの全面見直し	●リスクマネジメントマニュアルの全面見直しを実施 ●国内3拠点合同の防災訓練を企画	☺	●被害想定を変えた防災訓練を実施	P10

社会性報告

取り組み項目	2011年度の課題・目標	2011年度の主な活動実績	評価	2012年度の課題・目標	掲載ページ
株主・投資家の皆様	●継続的な安定配当を実施する ●ホームページ、CSRレポートなどにより適切な情報開示を行う	●1株あたり90円の配当を継続実施 ●ホームページ、CSRレポートに加え、海外機関投資家向けにアニュアルレポートを作成	☺	●継続的な安定配当を実施する ●ホームページ、CSRレポート、アニュアルレポートなどにより適切な情報開示を行う	P11
お客様	●用途に適合した品質を有する製品を提供する ●工程内の変化を発見し異常品を検出し、流出を防止する ●確認の徹底によりミスの撲滅を図る	●課題・目標は概ね達成 ●製品特性の優先課題を抽出	☺	●粗粒対策を最優先に「工程改善」「検査規格見直し」「製品開発」を推進する	P12
お取引先	●CSR調達ガイドラインを作成する	●購入先評価の基準をより明確に設定	☹	●CSR調達ガイドラインを作成する	P12
地域・社会	●社会貢献ガイドラインを作成する	●個別(太陽インキ)のガイドラインを作成	☺	●太陽HDを含めたガイドラインに見直す	P13~14
社員	●育児休業や育児関連休暇の取得を促進するため、諸環境を整備する ●育児や子育てに関する地域貢献を可能にするため、働き方を見直す ●第二子以降の出産時の慶弔休暇取得日数を見直す	●行動計画に沿ってニーズ調査の準備を開始	☹	●ニーズの調査結果より対策を実施するための事例などを確認し、大枠の展開案を作成する	P15~16

環境報告

取り組み項目	2011年度の課題・目標	2011年度の主な活動実績	評価	2012年度の課題・目標	掲載ページ
環境活動	●夏場の電力削減対策を構築し、その目標を達成する	●休日振替や土日の輪番稼働、サマータイム制などの運用により、目標を達成	☺	●前年度の電力使用量の実績に基づき、その維持を図る	P17~22

経営理念とCSR理念

経営理念に基づき、CSR理念と行動規範を定めて事業活動に取り組み、企業の社会的責任を果たしていきます。

経営理念

わが社は技術力を基礎として最高の価値ある製品を開発・提供し、収益を生み出し企業価値を高め、もってお客様・地域社会・株主及び従業員の幸福と繁栄に寄与します。

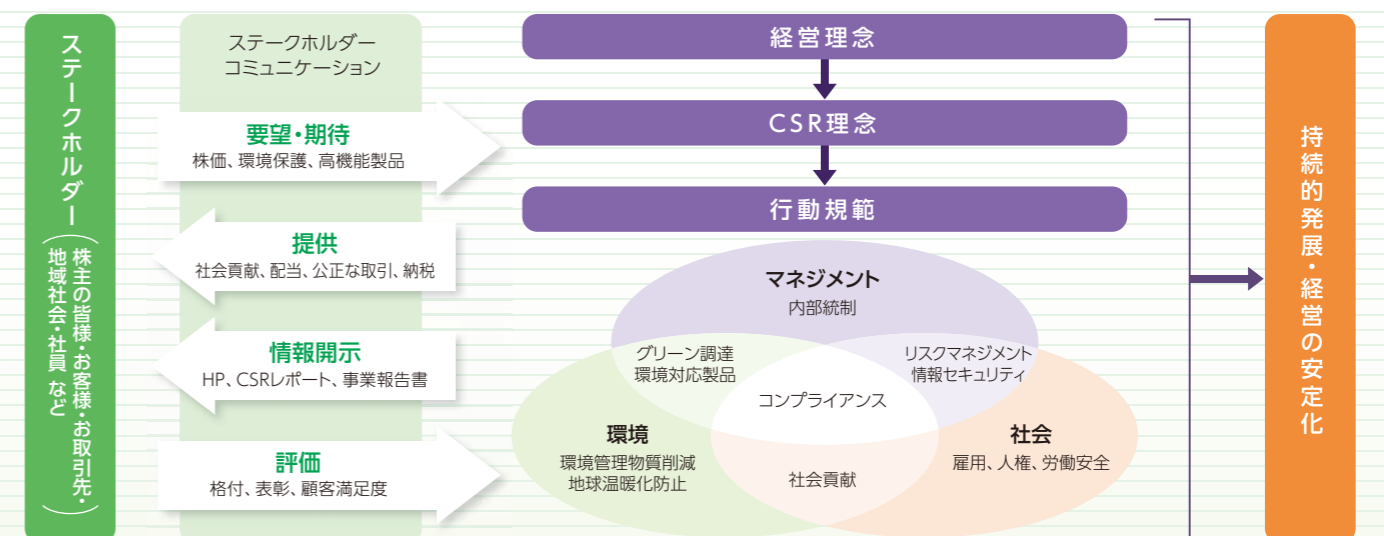
CSR理念

わが社は法令遵守、環境保護、品質管理の徹底、社会貢献を含め企業の社会的責任を全うします。

行動規範

CSR理念を実現させるために、次の各項を定め行動します。

- 1. 倫理・法令遵守** 私たちは、事業活動にあたって法令その他の社会的規範を遵守し、その精神を理解して公明かつ公平に行動します。
- 2. 職場の環境** 私たちは、社員の人権を尊重し、公平で差別のない職場をつくりまします。
- 3. 公正な取引の実施** 私たちは、全ての取引先に誠意をもって接するとともに公平かつ適正な取引条件を設定し、事業活動を行います。
- 4. ステークホルダーの尊重** 私たちは、常に全てのステークホルダー(利害関係者)の立場を尊重し事業活動を行い、また、開示すべき情報は適時・適切に公表します。
- 5. 秘密の保持** 私たちは、取引先の秘密情報、自社の秘密情報ならびに個人情報に漏洩しないように管理を行います。
- 6. 品質の確保(品質方針)** 私たちは、お客様に満足していただける品質と安全性を確保し提供します。
- 7. 環境の保全(環境基本理念)** 私たちは、社会的責任遂行の一環として地球環境保全に努め、環境と調和した事業活動を行います。
- 8. 社会貢献活動** 私たちは、社会の一員として社会貢献活動を行います。
- 9. 知的財産権の尊重** 私たちは、創作または保有する知的財産権を適切に保護するとともに第三者の知的財産権も尊重します。
- 10. 反社会的勢力の排除** 私たちは、反社会的勢力に対し、不法・不当な要求には一切応ずることなく、毅然とした態度を貫きます。



コーポレートガバナンス

経営の透明性を確保して説明責任を果たし、健全な会社運営を行うために、「取締役会」と「監査役会」を中心とした体制を構築しています。

コーポレートガバナンス体制

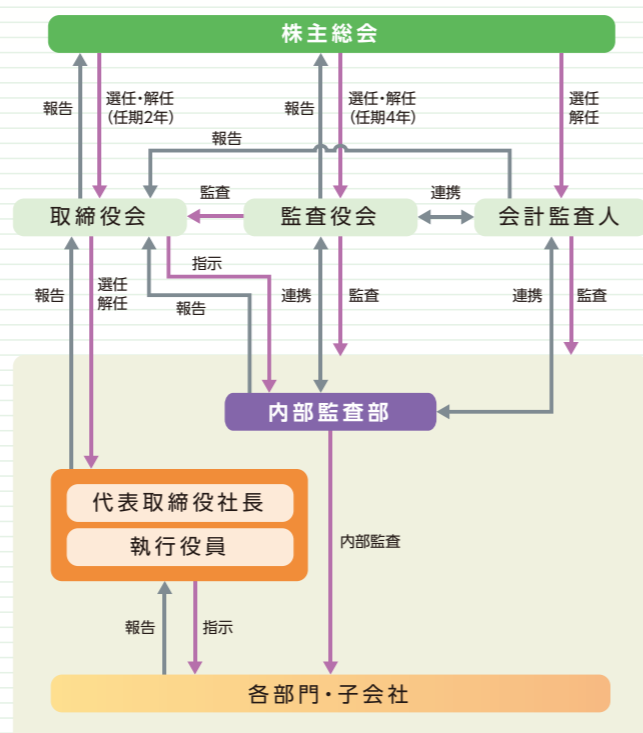
社会から信頼される企業として存続するためには、効率的な業務執行体制を構築するとともに、経営の透明性、健全性を高めることが重要と考えています。経営環境の変化に迅速に対応できる執行とその監督の体制を整え、グループ経営全般にわたる、企業価値の向上を図っています。

内部統制システム

2010年度における内部統制評価については、重大な不備や欠陥などはありませんでした。

2011年度は、業務プロセスなどの改善により、統制機能の強化を図りながら業務の効率化に取り組み、効率的に機能していることを内部監査で確認しました。今後は、財務報告の範囲にとどまらず、広い範囲で内部統制をとらえ、さらなるリスクの軽減と内部統制システムの強化を図っていきます。

■コーポレートガバナンス体制図



コンプライアンスに関する取り組み

私たちは、法令その他の社会的規範を遵守し、公明かつ公正な活動を行い、社会から信頼される企業を目指します。

コンプライアンス活動

当社は、倫理・法令遵守システムを確立し、コンプライアンスマニュアルをはじめ、各関連規程を整備するとともにガイドラインを設けてその趣旨を理解し、活動を行っています。

2011年度は、コンプライアンスリスクの調査を全社で実施しました。また、管理職へはe-ラーニングによる教育を行い、社員に対しては意識啓発のために新たな啓発ポスターを作成し、国内の全事業所の誰の目にも触れやすい場所に掲示しました。



啓発ポスター

リスクマネジメントに関する取り組み

事業活動に伴い発生する様々なリスクに対して、適切な対応措置の検討、整備を行ってまいります。

リスクマネジメント委員会の活動

震災時の対応の評価と反省

2011年度のリスクマネジメントに関する取り組みは、当初より予定していたリスクマネジメントマニュアルの全面見直しに加え、2011年3月に発生した東日本大震災時の当社の対応の評価と反省を中心に活動しました。

震災後の対応では、地震対策会議を設置し、国内拠点間で頻りにテレビ会議を行うことで迅速に対応できたなど、評価できる点もあります。しかしながら、震災直後の通信手段の確保や一部の休暇取得者の安否確認が遅れるなど、今後生かさなければならぬ点などもありました。

2011年度の活動

新しいメンバーを選任したリスクマネジメント委員会では、震災時の評価と反省を踏まえ、リスクマネジメントマニュアルの見直し、3拠点合同の防災訓練の企画などの活動を行いました。

■リスクマネジメントマニュアルの見直し

「火災・地震による緊急事態および事後の対応マニュアル」について、緊急時に使用することを想定して、実施事項(チェック項目)がわかりやすいシンプルなマニュアルに見直しました。

■3拠点合同の防災訓練

これまで拠点ごとに実施していた防災訓練を、国内3拠点合同で実施しました。

実施日：2012年4月12日

合同防災訓練の実施内容

- 【第一部】 各拠点個別の防災訓練
誘導、避難、点呼／拠点間連絡(第一報連絡)
- 【第二部】 3拠点合同の防災訓練
緊急(現地)対策本部の設置、設置の通知、組織の編成／初動対応のリストアップ／通信手段の確保／安否情報、被災状況、外部情報(二次災害、公共インフラなど)の収集、連絡、集約／従業員の社内待機および帰宅の指示／備蓄品の準備、取り出し／応援要員および備蓄品投入の確認／社外広報／緊急(現地)対策本部の解散

今回の防災訓練では、毎年実施している訓練(避難、誘導、点呼)に加え、昨年の震災直後の状況を想定したものとりました。拠点間の連絡には災害用の衛星携帯電話を実際に使用し、また緊急(現地)対策本部の設置から初動対応のリストアップ、備蓄品の取り出しなどの一連の流れを、実地訓練にて行いました。

今回は、防災訓練に対する社員の意識も高く、非常にスムーズに実施できました。

次回以降の防災訓練では、社内に様々な被害があったことを想定した訓練や、社員の家族を含めた連絡体制の整備などを行ってまいります。



緊急対策本部での初動対応リストアップの様子

備蓄品の充実

都内(練馬区)に所在する太陽HD本社では、これまで勤務者の3分の2を目安に備蓄品を準備してきましたが、今後は全勤務者(45名)が社内待機になることを想定し、備蓄量を改めました。

■太陽HD本社の備蓄量

備蓄品	必要数	備蓄量	備考
飲料水	202.5ℓ (45人×1.5ℓ×3日間)	208.0ℓ	今後1人あたりの備蓄量を順次増やす (1人2.0ℓ~3.0ℓが目安)
食料	405食 (45人×3食×3日間)	428食	1食400キロカロリーが目安

※その他、防寒具・調理器具・衛生用品・資機材・照明・救助工具・救急用品などを備蓄している

株主の皆様との関わり

利益の配分および適切なコミュニケーションを通じて、株主の皆様の「幸福と繁栄」に寄与します。

利益配分に関する基本方針

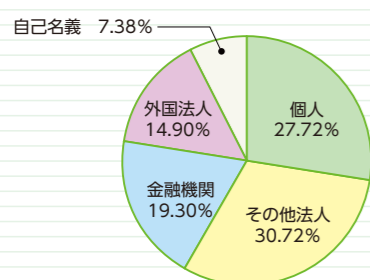
現金による株主の皆様への利益還元を重要な政策として位置付け、当社の中長期的な業績向上に必要な投資とのバランスを勘案しながら、継続的かつ安定的に高水準の配当を実施することを目指しています。具体的な配当目標指標は、「中長期的に純資産配当率（連結）5%以上」を目処としています。

2011年度については1株につき合計90円の配当を決定しました。自己株式の取得についても株価水準、需給動向などを見極めながら実施していきます。

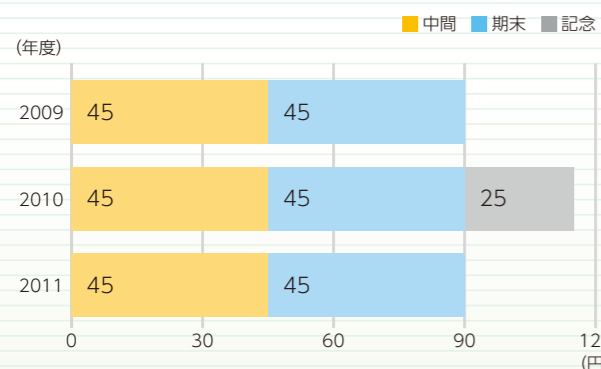
株式の状況(2012年3月31日現在)

発行済み株式数	27,464,000株
株主数	8,316人

株式分布状況(2012年3月31日現在)



1株あたりの配当の推移



純資産配当率の推移(連結)



IR活動

株主・投資家の皆様に対して投資判断に有効な情報をお届けするため、正確性・公平性・迅速性を確保したIR活動を実施することを基本方針としています。

具体的なIR活動としては、アニュアルレポートの発行、自社ホームページでのIR情報提供、アナリスト・機関投資家向けに決算説明会、機関投資家との個別ミーティングなどを実施しています。

海外の機関投資家に対しても積極的にIR活動を行っており、2011年度は、シンガポールでIRミーティングを実施しました。

開かれた株主総会

2011年6月28日、第65回定時株主総会を開催し、多くの株主の皆様にご出席いただきました。株主総会では、経営方針や事業概況をより深く理解していただくために、大型スクリーン映像やナレーションなどを活用した事業報告を行っています。

株主総会の模様は、オンデマンドによる配信を行い、当日参加できなかった株主の皆様をはじめ、報道関係者にも広く公開しています。また、株主総会終了後には、懇談会を開催しています。懇談会では、当社の製品が使用されたプリント基板や電気製品をご覧いただきながら、役員や開発担当者と直接対話ができる場を設け、株主の皆様とのコミュニケーションの充実を図っています。

お客様との関わり

お客様に満足していただける品質と安全性を確保し提供するため、太陽インキでは品質マネジメントシステムを運用し、品質の向上に取り組んでいます。

品質マネジメントシステムのイノベーション

2011年度は、品質マネジメントシステムの有効性向上を図るとともに、業務フローの再確認などを行いシステムの抜本的なスリム化に注力しました。

2012年度は、各プロセスの目的、役割およびプロセス間のつながりをより明確にした、わかりやすく明快な品質システムを構築し、さらなるシステムのスリム化に努めます。

生産工程情報の活用

製品の品質を「お客様の満足」ととらえ、製品品質の強化に努めています。

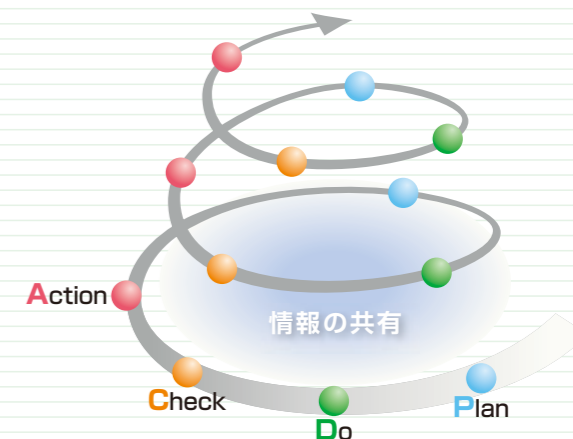
品質検査の内容

- ①受入検査Plus(安定した製品品質の確保)
原料受入検査の規格項目に加え、特定の原料については精度の高い試験を行い、安定した製品品質の確保に努めています。
- ②製品検査(精度の高い判定基準を追加)
精度の高い判定基準を追加し、次工程引き渡し条件を見直すことで、工程内で品質の作り込みを行います。

苦情情報の活用

お客様からの苦情情報は、品質改善の機会と捉えています。根本原因を究明し、処置についても有効性のある効果的な処置を検討し、より安定した品質の製品を製造・提供できるような活動につなげています。

お客様との情報共有に基づく品質改善



お取引先との関わり

グリーン調達基準に基づき、環境と安全性・品質安定性に配慮した原材料の調達を行っています。

購入先評価と立ち入り監査の実施

お取引先と信頼関係のある取引をさせていただくために購入先評価の基準をより明確にし、お取引先のご協力をいただきながら進めさせていただいています。

原材料の品質・環境への配慮・納期などの維持、向上のために、お取引先のご理解を得て、原材料、外注製品の購入先への立ち入り監査を実施しています。

監査の手順

- ①品質マネジメントシステム評価および環境管理物質評価を実施します。
- ②前述評価および前年1年間の品質状況を考慮し、立ち入り監査先を選定します。(毎年6月)
- ③事前に監査チェックリストおよび監査計画書を購入先に提出し、監査目的を理解していただきます。
- ④監査チェックリストに基づき監査までに自己評価をしていただきます。
- ⑤品質保証部、生産技術部、購買部より監査メンバーを選出し、監査ポイントを確認します。
- ⑥取引先監査を実施させていただきます。
- ⑦監査終了後、取引先を含めた最終打ち合わせを実施。要改善箇所については、後日監査報告書を作成し、取引先に改善要請を文書で提出します。
- ⑧購入先から改善回答書を受領。関係部署と協議し、改善策の有効性を確認します。

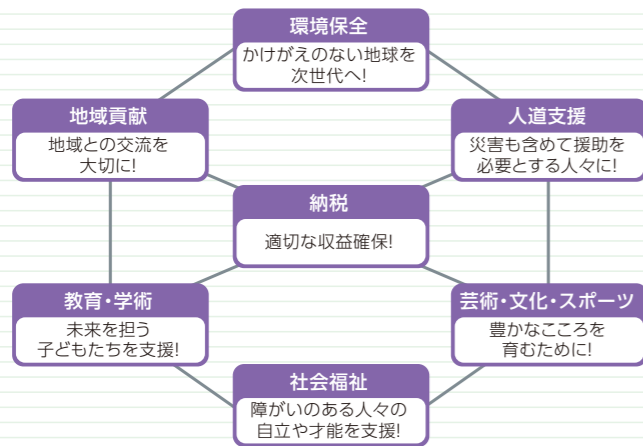
地域・社会との関わり

地域社会と地球環境との調和を目指し、企業市民として様々な社会貢献活動に、積極的に取り組んでいます。

社会貢献に対する基本的な考え方

社会の一員として、社会の発展に寄与すること。これも企業が果たすべき大切な責任のひとつです。限りある資源を次の世代に残し、関わる人の心を豊かにし、ともに成長する企業であり続けるため、太陽HDグループ各社が連携し幅広い活動に取り組んでいます。

■太陽HDグループが目指す社会貢献



社会貢献活動

社会貢献意識の向上

社員とその家族によるボランティアサークル「太陽サポートクラブ」は発足から3年が経過し、より活発な活動を展開しています。活動予定、活動報告を行う「太陽サポートクラブ通信」を定期的に発行し、社員の啓蒙活動を行っています。

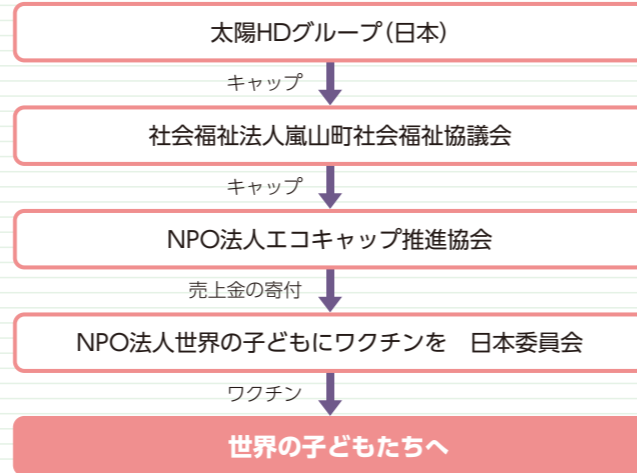
一人ひとりの心遣い

ペットボトルキャップを集めて世界の子どもたちにワクチンを届けることを目的とした「エコキャッププロジェクト」では、クラブ発足当初から現在までにポリオワクチン約200本分のキャップを寄付することができました。

また、社内で集めた使用済み切手を社会福祉協議会に提供し、養護盲老人ホームの運営に役立てていただいています。

今後も、一人ひとりの小さな心遣いを社会のために役立てる活動を継続していきます。

■エコキャッププロジェクトの概要



大規模災害被災地への支援

大規模災害などにより深刻な被害が発生した際に、少しでも現地復興の手助けになればという思いから、義援金の寄付を行っています。

日本では未曾有の大震災から1年が経過しましたが、いまだ被害の爪あとは多く残っています。今後も同じ社会に生きる一員として、できる限りの支援を行っていきます。

献血サポーター

近年の少子高齢化に伴う献血者の減少、輸血者の増加などにより、血液不足が深刻化しています。血液は人工的につくることのできないため、継続的な献血を行い、必要な血液を確保しておく必要があります。

太陽インキは、厚生労働省の献血推進対策に賛同し、献血サポーターとして社員へ献血活動の理解と協力を呼びかけるとともに、太陽HDグループの国内拠点に勤務する社員も毎年1回の巡回献血に協力しています。



地域貢献活動

地域活性化への貢献

太陽HD嵐山事業所および太陽インキが位置する埼玉県嵐山町は、木曾義仲や畠山重忠など、日本史に名をとどめた坂東武者ゆかりの地です。その歴史と伝統を継承する文化まつり「嵐山まつり」に毎年模擬店を出店しています。

2011年度は子ども向け玩具・遊具の販売と当社PRスペースを設け、地域の皆様との交流を図るとともに当社の事業をご理解いただくよい機会となりました。

なお、当日の売上の全額は社会福祉協議会へ寄付し、社会福祉の向上に役立てていただきました。



「嵐山まつり」の様子

子どもの安全確保のための活動

社有車に「防犯パトロール実施中」のマグネットを貼付し、不審者による犯罪を抑制する取り組みを行っています。

また、太陽HD嵐山事業所および太陽インキに「子ども110番の家」の看板を設置し、緊急時には逃げ込んできた子どもを守衛所にて保護するなど、安心して助けを求められる体制も整えています。



防犯パトロールのマグネット

学校教材充実のために

将来を担う子どもたちの教育環境を整え、健やかな成長を手助けすることを目的に、埼玉県嵐山町内の公立小中学校のPTAが主催する廃品資源回収へ、事業工程から出る廃段ボールを提供しています。

2011年度は11,630kgを提供し、その収益金を体育館ヒーター、サッカーボールの購入などに活用していただきました。

環境保全活動

地域美化活動

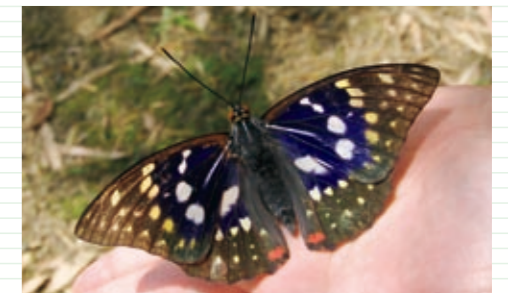
太陽HD嵐山事業所では、課長以上の管理職10名程度の2チームを編成し、毎月交代で事業所周辺道路のゴミ拾いを行っています。以前は、かなり多くのゴミを回収していましたが、最近では少しずつ量が減っており喜ばしいことです。

また、太陽インキでは、「彩の国ロードサポート」に登録し、国道254号線を中心とした清掃活動を毎月1回実施しています。

国蝶「オオムラサキ」の保護

国蝶に指定されている「オオムラサキ」が、幼虫の時期に餌として食べ、成虫して卵を産み付ける「エノキ」という樹木や、成虫の餌となる樹液を出す「コナラ」や「クヌギ」といった樹木が茂る雑木林が埼玉県嵐山町には存在します。

太陽インキでは、敷地内にオオムラサキが越冬しやすい環境を整えるなど、町と一体となった保護活動を行っています。また、里山づくりのボランティア活動にも、社員が積極的に参加しています。



オオムラサキ

■オオムラサキの越冬幼虫数の推移

	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
越冬幼虫数	57	2	39	53

※太陽インキ敷地内で観察できた数

社員との関わり

社員一人ひとりが、個々の強みを生かし、自分の能力や適性を最大限に発揮できる職場づくりを進めています。

雇用における基本的な考え方

太陽HDグループでは、グループ全体の人員状況と成長計画を踏まえ、適正人員の維持を図っています。

社員の雇用・処遇にあたっては、国籍や性別、年齢などに関係なく活躍できる職場風土づくりを推進し、かつ「ワーク・ライフ・バランス」を推進するために、仕事と家庭生活の両立支援に努めています。

■社員概況(2012年3月31日現在)

	男性	女性	合計
正社員総数*1	309人	36人	345人
正社員以外の雇用数	-	4人	4人
社員平均年齢*2	42.88歳	40.02歳	42.58歳
社員平均勤続年数*2	15.66年	16.17年	15.71年
障がい者雇用人数*2,3	2人	0人	2人
障がい者実雇用率*2,3	-	-	1.18%
再雇用人数	2人	0人	2人

対象：太陽HD、太陽インキ
 ※1 海外出向者を含む
 ※2 出向受け入れ、派遣社員は除く
 ※3 「障害者の雇用の促進等に関する法律施行規則」第8条の規定による

人材の育成

グローバル人材の育成と活用

太陽HDグループでは、グローバル化が進むなか、海外関連会社で現地採用した社員のグループ内異動の検討や、優れた人材を太陽HDの役員として登用するなど、積極的にグローバル人材として活用しています。

また2011年度は、海外関連会社の現地経営層を講師に迎え、若手社員に向け各国のマーケット状況や異文化知識を生の声として伝える研修を実施しました。

資格取得支援制度

社員の自己啓発を促すことを目的に、「資格取得支援制度」を導入し、運用しています。2011年度に提出された資格取得報告書は、13件に上りました。

弁理士や、TOEIC、ファイナンシャルプランナー、簿記検定など、社員本人の業務に直接関係しないものも多く、自己研鑽に励む社員が増えてきました。今後も社員がこの制度を大いに利用できるよう、会社としてアピールをしていきます。

■難易度別資格取得者数

難易度	S	A	B	C	D	合計
2010年度	1	0	4	4	2	11
2011年度	1	1	2	7	2	13

対象：太陽HD、太陽インキ
 ※難易度は当社で設定

「ワーク・ライフ・バランス」の推進

働き方の見直し(長時間労働の防止)

太陽HDと太陽インキでは、ワーク・ライフ・バランスの実現と社員の健康確保の観点から、社員一人ひとりの働き方を見直し、仕事の生産性を高め、よりメリハリのある働き方に会社をあげて取り組んでいこうとしています。

管理職層と一般職層が一体となり、仕事のやり方を見直し、超過勤務時間の管理をより充実させ、一定の時間以上の超過勤務時間が発生した場合には、健康状態の確認を実施しています。

「次世代の育成」に寄与する支援制度

入所待機児童の問題が社会問題となっているなか、当社は、短時間勤務をはじめ、仕事と育児の両立を支援するための各種制度を整えています。

■主な支援制度

制度名	利用者数		
	2009年度	2010年度	2011年度
育児支援 育児休業制度(満1歳に達した翌年度末まで)	2	1	3
育児短時間勤務制度(小学校3年生修了まで)	2	8	9
介護支援 介護休暇・介護短時間勤務制度(延べ日数93日)	0	0	0
看護支援 看護休暇制度	45	45	51
リフレッシュ リフレッシュ休暇制度(勤続5年から40年までの5年ごと、資金援助有)	43	62	64

対象：太陽HD、太陽インキ

定年退職者の再雇用推進

太陽HDおよび太陽インキでは、満60歳の定年を迎えた社員が、その豊富な経験や技術・技能を生かして働き続けられるよう、本人の希望と会社の必要性を合わせた上で再雇用を行っています。

再雇用を円滑に進めるためには、社員が58歳になった段階で第1回目の個別面接を行い、希望を確認します。

その後、第2回目の面接を59歳時に、最終的には60歳を迎える6ヶ月前には会社からの労働条件を提示しています。

労働安全衛生

毎月「安全衛生委員会」を開催し、労働安全衛生方針である「社内における危険を把握し、労働災害の防止と撲滅を目指します」に基づく活動を行っています。

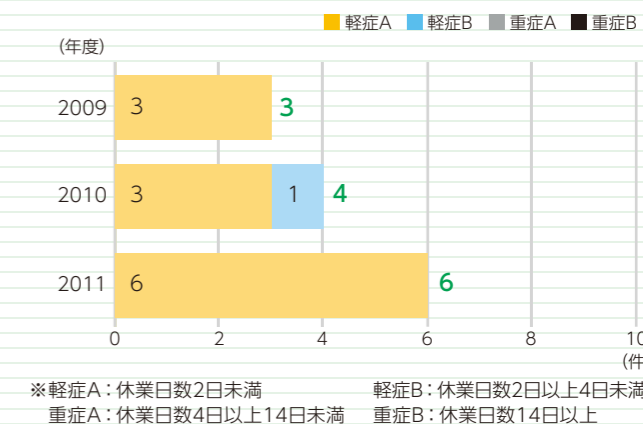
安全衛生委員会では、各管理者による報告に基づき審議を行い、安全衛生に関連する法規制、条例、協定なら

びに社内基準などの遵守を推進しています。

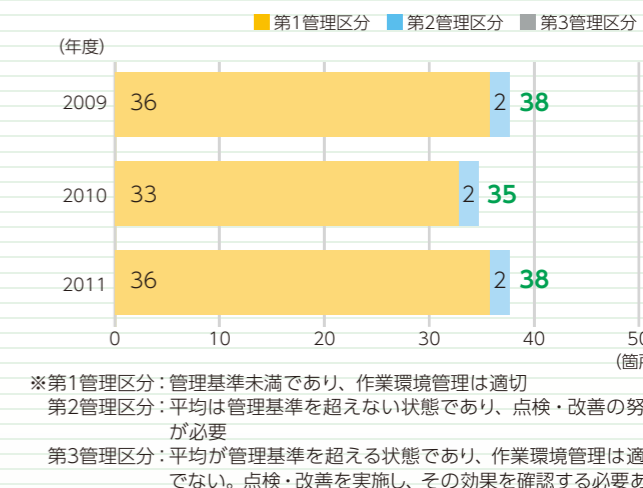
また、毎月行われる各管理者による工場巡回および年1回委員全員で実施するリスクアセスメント活動を通じ、危険箇所への改善と類似箇所への水平展開を指示し、全社一丸となって安全衛生の継続的改善に取り組んでいます。

さらに、毎年作業環境測定を行い、快適な職場環境づくりに努めるとともに、自衛消防・避難訓練、安全衛生教育の実施にも積極的に取り組んでいます。

■労働災害発生件数の推移



■作業環境測定結果の推移



Voice

社員の声

平成23年弁理士試験最終合格

私の担当業務は、主に国内外の特許出願と拒絶対応です。これらの業務では特許法の知識が必要なため、弁理士試験の勉強をした甲斐があったと思います。正直、試験勉強の期間が長く大変でしたので、合格できて良かったと思う毎日です。

弁理士試験に最終合格するまで6年かかり、試験範囲も広く何度も挫折しそうになりましたが、上司や先輩方が応援してくださいのおかげで無事合格できました。

資格取得支援制度でいただいた報奨金で、試験勉強中なかなか行けなかった旅行に行きたいと思っています。



知財法務部 浅野

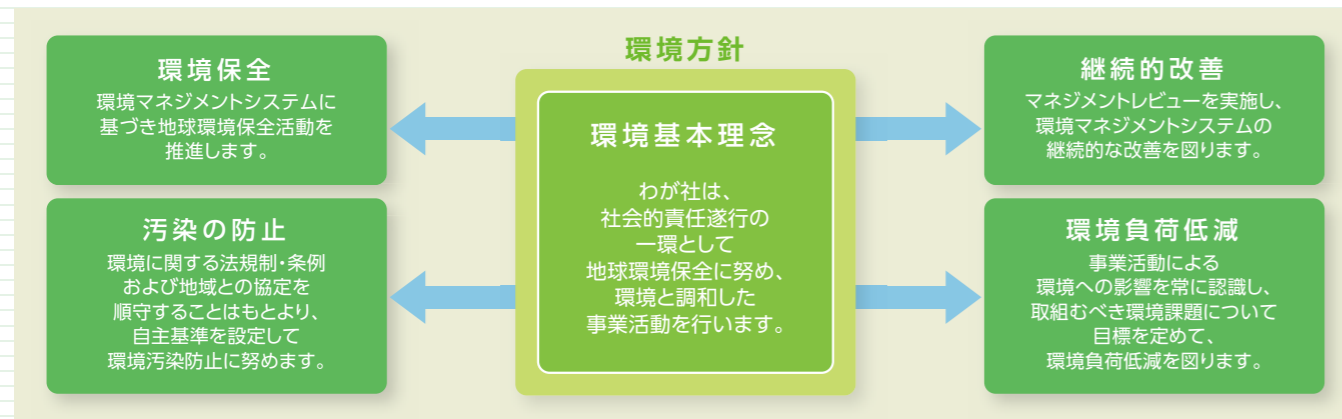
環境方針と環境マネジメントシステム

環境基本理念に基づき、環境方針を定めて内外に公表するとともにすべての経営資源を結集し、人・環境・社会が共生する「ものづくり」を推進しています。

環境活動における基本的な考え方

太陽HDグループは、環境マネジメントシステムを通して人々の安全と健康、かけがえのない地球環境を守ることが経営上の重要な課題のひとつであると認識しています。環境経営の実現に向けて、この認識を役員および社

員全員と共有し、活動しています。企業の社会的責任としては、省エネおよび温室効果ガスの削減を推進しなければなりません。また、2012年度の夏場の電力事情は昨年度より緩和されると考えますが、「節電」への取り組みは引き続き推進します。



環境対応製品・化学物質に関する取り組み

化学物質によって実現できる豊かさと、地球環境や人々の健康に与える影響を考慮し、高機能かつ環境負荷の低減を両立した「ものづくり」に取り組んでいます。

環境対応製品に関する取り組み

フレキシブル基板用難燃性ソルダーレジスト

■お客様ニーズ

携帯電話やフラットディスプレイなど電気製品の中には、半導体素子などの電子部品を実装するフレキシブル基板があります。その導体パターン上に、「ソルダーレジスト」と呼ばれる耐熱性材料が、スクリーン印刷法や露光現像法によって絶縁保護膜として形成されています。

フレキシブル基板に使用されるソルダーレジストの特性は、はんだ付け時の「耐熱性」「絶縁性」「可撓(かとう)性^{*1}」が必要です。

一方、電気製品は、使用環境によっては火災の原因となることがあり、その部品素材は、燃えにくいものや健康を

害する煙や有害物質が出にくいものにすることが不可欠です。このように、電気製品に用いられるソルダーレジストには「難燃性」も必要です。

■ソルダーレジストの課題

ここで使用されるソルダーレジストの多くは、エポキシ樹脂が材料として用いられていますが、難燃性の面で、そのまま用いることが困難でした。そこで、ソルダーレジストに難燃性を付与するために、ハロゲン系難燃剤を添加したり、骨格に臭素化エポキシ樹脂を用いたりしてきましたが、ハロゲン系難燃剤を使用したソルダーレジストを焼却した場合、ダイオキシン類のような有毒ガスが発生し、焼却時、廃棄時に、環境への負荷が発生しました。

さらに、近年、環境問題への対応から、ハロゲン系難燃剤の代わりに有機リン系難燃剤が用いられるようになって

きました。しかし、有機リン系難燃剤も、難燃性がそれほど優れているわけではなく、ハロゲン系難燃剤と比較して、添加量を多くしなければならず、ソルダーレジストの特性劣化やブリードアウト^{*2}などの問題を抱えていました。

■課題解決を目指して

太陽インキでは、最終製品における環境負荷低減と安全性の両立を目指し、ハロゲン系難燃剤を使用せずに、難燃性の規格であるUL規格の基準を満たす「フレキシブル基板用難燃性ソルダーレジスト」を開発しました。

この「フレキシブル基板用難燃性ソルダーレジスト」は、高い難燃性があるだけでなく、各種薬品耐性にも優れています。フレキシブル基板を用いた様々な分野で使用されることにより、お客様の新製品開発に寄与しています。

■「フレキシブル基板用難燃性ソルダーレジスト」の開発

当社の取り組み

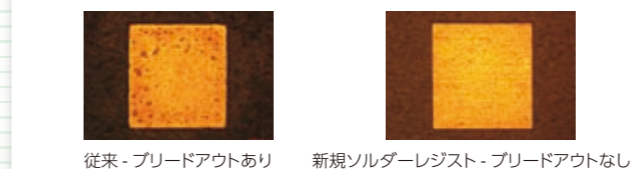
- ① 難燃性の骨格を有する樹脂を選択し、少ない量の難燃剤で高い難燃性を達成
- ② 反応型難燃剤の選択によるブリードアウトを改善
- ③ 樹脂骨格の改良による可撓性を付与

上記取り組みにより従来トレードオフであったハロゲン系難燃剤を用いず、高い難燃性と可撓性を両立したブリードアウトのない「フレキシブル基板用難燃性ソルダーレジスト」を開発することができました。

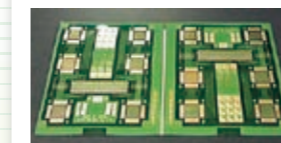
■ 燃焼試験



■ 実装時のブリードアウトの様子(SR開口部)



■ 新規フレキシブル基板用ソルダーレジスト外観



化学物質に関する取り組み

化学物質管理に関する教育

改正化審法^{*3}の本格施行、中国や台湾などアジア諸国での新規法制化など、近年、化学物質管理に関する規制強化が続いています。また、JAMP書式^{*4}などにより製品に含まれる化学物質の情報伝達も普及し、化学物質管理への対応は複雑化・多様化の傾向にあります。太陽HDグループでは、環境マネジメントシステムを中心にこれらの動向に追従できるような体制をすでに整備していますが、より効率的なRC活動^{*5}の実現には設計開発段階からの組織的な取り組みが重要であると考えています。

その一環として、2011年夏は震災の影響による電力供給不足の問題対策も兼ねて、関係部門向けに化学物質管理に関する教育を電力消費ピークの時時間帯に実施しました。変貌する化学物質管理の情勢に適切に対処していけるよう、今後も組織的な取り組みを進めていきます。

GHS^{*6}対応MSDS/ラベルによる情報提供

化学物質の不適切な使用による中毒などの労働災害を未然に防止するためにも、化学物質の危険性や有害性などの情報を使用者に適切に提供することが非常に重要です。中国や台湾では、GHSに基づいたMSDS/ラベルの提供が義務化され、その対応が急務となっています。

太陽HDグループでは台湾向け製品へのMSDS/ラベルのGHS化、日本向けMSDS/ラベルのGHS化に引き続き、2011年は中国で販売するすべての製品をGHSに対応したMSDS/ラベルに切り替えました。今後も他の地域向けも含めて、お客様の安全衛生管理のための取り組みを継続していきます。

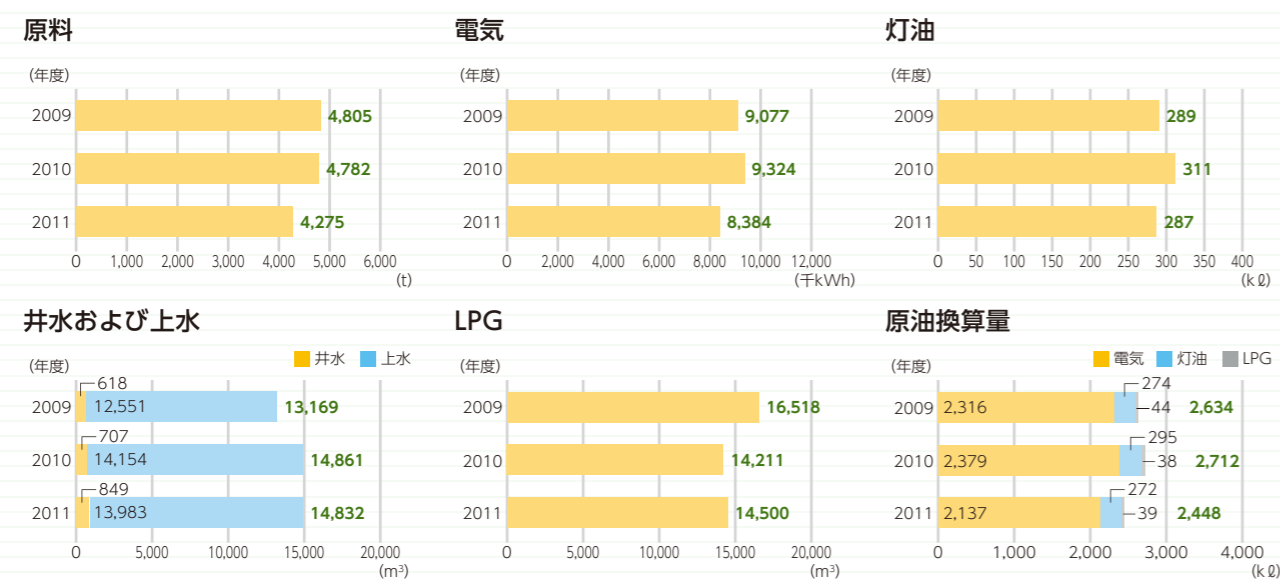
用語解説

- *1 可撓性：基板の組み込み時の折り曲げで、クラック(ひび割れ)が入らないようにする「たわみ」
- *2 ブリードアウト：高温(150度以上)で補強板などを実装する際に行う、熱プレス時に発生するSR組成物(難燃剤)の染み出しのこと
- *3 改正化審法：平成21年改正化審法により、一定数量以上の化学物質を製造・輸入した場合、原則、すべての化学物質の数量などが届出義務の対象となった
- *4 JAMP書式：JAMP(アーティクルマネジメント推進協議会)が推奨する製品含有化学物質情報を伝達するシート。MSDSplus、AISがある
- *5 RC活動：レスポンスフルケア活動。化学物質の開発から製造、使用、廃棄に至るまで、「環境・安全・健康」を確保する企業の自主的な取り組み活動
- *6 GHS：国連が主導する「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」。化学品の危険性・有害性を一定の基準に従い分類し、絵表示などでわかりやすく表示したものを

事業活動と環境との関わり

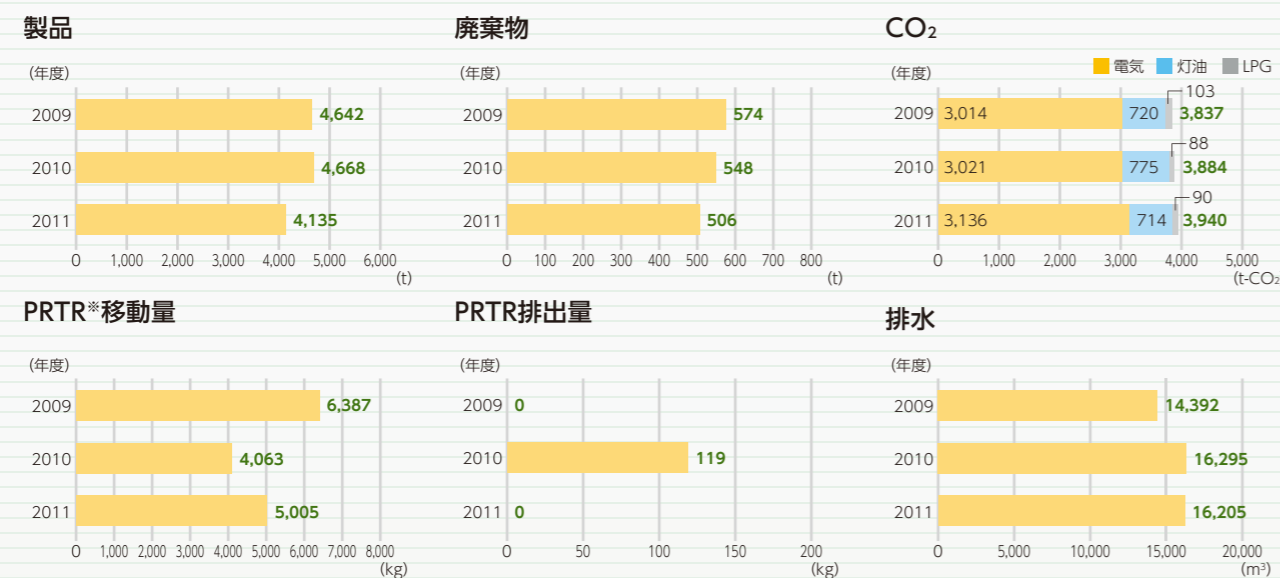
事業活動に伴い、どれだけの資源やエネルギーを使用(INPUT)しているか、どのくらいのCO₂や廃棄物などを発生(OUTPUT)させているかデータを把握し、分析しています。

INPUT



エネルギーの使用量は省エネ法に基づいて原油に換算した場合、電気が全体の9割近くを占め、その増減による影響が大きい。

OUTPUT



※PRTR: Pollutant Release and Transfer Registerの略
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律

環境保全活動

事業活動が与える様々な環境影響を考え、環境保全に取り組んでいます。

電力削減対策

電力削減対策の構築

太陽HDおよび太陽インキでは以前より環境活動として節電に取り組んできました。2011年度は夏場の電力削減対策の構築および目標達成を当初から環境活動の目標と定めていましたが、併せて政府ならびに電力会社からの節電要請に基づき、以下の電力削減対策を実施しました。

電力削減対策

(太陽HD、太陽インキのまとめ)

【実施期間】2011年7月1日～9月9日

【節電目標】2010年の最大需要電力の15%以上を削減する
【節電対策】

項目	内容
就業体制*1	<ul style="list-style-type: none"> サマータイム制の導入(太陽インキ) 休日振替、土日の輪番稼働(太陽HD嵐山事業所、太陽インキ) 休憩時刻の変更(太陽HD本社)
設備	<ul style="list-style-type: none"> 研究設備の使用制限 自家発電機の導入
服装	<ul style="list-style-type: none"> スーパークールビズの導入
空調	<ul style="list-style-type: none"> 28℃設定の徹底 一部エアコンの完全停止 休憩中の一斉停止
照明	<ul style="list-style-type: none"> 照明の間引き 無人場所の消灯の徹底 LED電球、HF管、人感センサーの導入 休憩中の一斉停止
OA機器	<ul style="list-style-type: none"> プリンターやコピー機の一部使用停止 PCのこまめな電源OFF プリンターのこまめな電源OFF スタンバイモード設定
その他	<ul style="list-style-type: none"> エレベータの使用制限 温水器の使用停止 自動販売機のピークカットおよび一部販売停止 その他機器の使用制限および一部使用停止

※1 就業体制は勤務する全社員が対象でない場合もある

電力削減対策の結果

全社員の協力およびお客様、お取引先のご理解のもと、当社の電力削減対策は目標を大きく上回る結果となりました。

電力削減対策の結果

(1)個別目標期間の結果(7月1日～7月20日および8月24日～9月9日)

	太陽HD本社	太陽HD嵐山事業所	太陽インキ
昨年の最大需要電力①	79kW	699kW	2,394kW
今年の最大需要電力②	46kW	509kW	1,884kW
削減率②/①	58.2%	72.8%	78.7%

(2)共同スキーム*2期間の結果(7月21日～8月23日)

	太陽HD本社	共同スキーム		合計
		太陽HD嵐山事業所	太陽インキ	
昨年の最大需要電力①	78kW	639kW	2,328kW	2,967kW
今年の最大需要電力②	49kW	388kW	1,890kW	2,278kW
削減率②/①	62.8%	—	—	76.8%

※2 共同スキームとは、複数拠点の合計値で需要電力の削減に努める取り組みのことで、太陽HDグループでは太陽HD嵐山事業所と太陽インキの2拠点で実施した

スーパークールビズの導入

太陽HD本社では、以前より夏場のクールビズ(ノーネクタイ、ノー上着)を導入していましたが、2011年度は従来のクールビズの適用を拡大したスーパークールビズを導入しました。

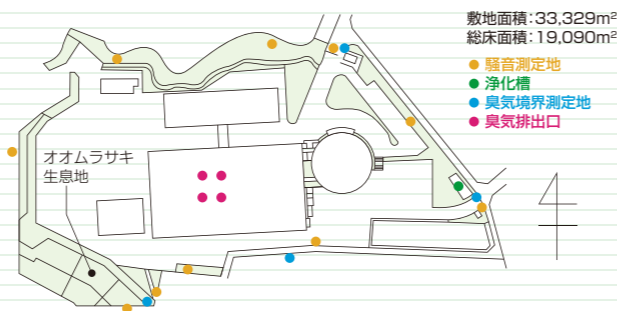
スーパークールビズのドレスコード(服装基準)

	着用可能
上着	ポロシャツ、開襟シャツ、アロハシャツ
ズボン	チノパン、コットンパンツ
スカート	制服に準ずるスカート
靴下	ショートソックス
靴	カジュアルシューズ、スニーカー、ドクターシューズ

法規制測定データ集

法規制に基づく測定を定期的に行い、周辺環境への負荷を監視することで、事業活動に伴う環境負荷の低減を図ります。

太陽インキ製造 埼玉県比企郡嵐山町大字平澤900番地



●騒音(騒音規制法※2/埼玉県条例) (dB)

	測定箇所	規制値	2009年度	2010年度	2011年度
朝	東側	50以下	46	44	43
	南側		46	43	40
	西側		42	41	41
	北側		45	44	39
昼間	東側	55以下	44	46	46
	南側		49	49	49
	西側		48	44	45
	北側		40	46	42
夕	東側	50以下	44	45	47
	南側		40	39	44
	西側		39	39	45
	北側		42	45	48
夜間	東側	45以下	42	43	42
	南側		41	40	42
	西側		42	38	41
	北側		40	43	41

●社外臭気(悪臭防止法/埼玉県条例※1)

	測定箇所	規制値	2009年度	2010年度	2011年度	
臭気指数	敷地境界線	15以下	10未満	10未満	10未満	
	排出口	E-1011	35以下	27	25	24
		F-1001	39以下	30	24	22
		練肉脱臭設備	32以下	25	20	20
		E-1021	42以下	29	26	35

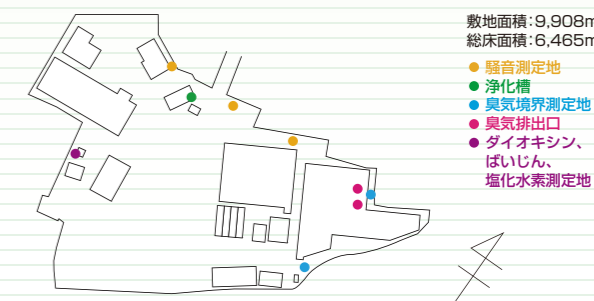
●合併浄化槽(浄化槽法・水質汚濁防止法/埼玉県条例)

	項目	単位	規制値	2009年度	2010年度	2011年度
生活環境項目	化学的酸素要求量(COD)	mg/L	160以下	9.7	9.0	9.7
	生物的酸素要求量(BOD)	mg/L	25以下	3.9	3.3	3.5
	浮遊物質(SS)	mg/L	60以下	6.3	4.9	5.9
	水素イオン濃度	pH	5.8~8.6	7.5	7.5	7.7
	大腸菌群数	個/cm³	3,000以下	57.1	108.1	148.5
	銅	mg/L	3以下	0.03	0.03未満	0.04
	亜鉛	mg/L	2以下	0.05	0.05	0.06
	溶解性鉄	mg/L	10以下	0.13	0.10	0.10
	溶解性マンガン	mg/L	10以下	0.1未満	0.1未満	0.1未満
	全クロム	mg/L	2以下	0.05	0.05未満	0.05未満
	全窒素	mg/L	120以下	20.1	21.4	17.7
	全リン	mg/L	16以下	2.0	2.1	2.1
	ノルマルヘキサン抽出物質	mg/L	30以下	2.5未満	2.5未満	2.5未満
	有害物質	シアン化合物	mg/L	1以下	0.1未満	0.1未満
鉛およびその化合物		mg/L	0.1以下	0.01未満	0.01未満	0.01未満
六価クロム化合物		mg/L	0.5以下	0.05未満	0.05未満	0.05未満
四塩化炭素		mg/L	0.02以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満
ふっ素およびその化合物		mg/L	8以下	0.2未満	0.2未満	0.2未満

用語解説

※1 埼玉県条例：埼玉県生活環境保全条例
 ※2 騒音規制法：騒音規制に関する法律
 ※3 ダイオキシン法：ダイオキシン類対策特別措置法

太陽ホールディングス嵐山事業所 埼玉県比企郡嵐山町大字大蔵388番地



●小型焼却炉(ダイオキシン法※3/埼玉県条例)

項目	単位	規制値	2009年度	2010年度	2011年度
ばいじん	g/m³N	0.15以下	0.018	0.009	0.00765
排ガス中のダイオキシン	ng-TEQ/m³N	5以下	0.16	0.36	0.77
焼却灰中のダイオキシン	ng-TEQ/g	3以下	0.085	0.62	0.025
塩化水素	mg/m³N	500以下	52.0	41.0	50.5

●騒音(騒音規制法/埼玉県条例) (dB)

	測定箇所	規制値	2009年度	2010年度	2011年度
朝	東側	50以下	48	47	46
	北側		46	46	44
	西側		48	47	43
昼間	東側	55以下	47	47	46
	北側		44	46	44
	西側		47	48	46
夕	東側	50以下	45	45	48
	北側		45	46	46
	西側		46	46	46
夜間	東側	45以下	44	44	45
	北側		43	43	45
	西側		45	45	44

●社外臭気(悪臭防止法/埼玉県条例)

	測定箇所	規制値	2009年度	2010年度	2011年度
臭気指数	技術棟排出口	40以下	22	24	19
	技術棟排出口	40以下	22	22	24
	敷地境界線No.1	18以下	10未満	10未満	10未満
	敷地境界線No.2	18以下	10未満	10未満	10未満

●合併浄化槽(浄化槽法・水質汚濁防止法/埼玉県条例)

	項目	単位	規制値	2009年度	2010年度	2011年度
生活環境項目	化学的酸素要求量(COD)	mg/L	160以下	8.8	17.0	11.0
	生物的酸素要求量(BOD)	mg/L	25以下	7.8	9.0	10.3
	浮遊物質(SS)	mg/L	60以下	5.5	24.7	12.0
	水素イオン濃度	pH	5.8~8.6	7.1	7.0	7.0
	大腸菌群数	個/cm³	3,000以下	46.7	503.4	248.7
	銅	mg/L	3以下	0.06	0.03	0.03
	亜鉛	mg/L	5以下	0.07	0.06	0.05未満
	溶解性鉄	mg/L	10以下	0.1未満	0.1	0.1未満
	溶解性マンガン	mg/L	10以下	0.1未満	0.1未満	0.1未満
	全クロム	mg/L	2以下	0.05未満	0.05未満	0.05未満
	全窒素	mg/L	120以下	16	23	19
	全リン	mg/L	16以下	1.8	2.8	2.1
	ノルマルヘキサン抽出物質	mg/L	30以下	2.5未満	2.5未満	2.5未満
	有害物質	シアン化合物	mg/L	1以下	0.02未満	0.02未満
鉛およびその化合物		mg/L	0.1以下	0.01未満	0.01未満	0.01未満
六価クロム化合物		mg/L	0.5以下	0.05未満	0.05未満	0.05未満
四塩化炭素		mg/L	0.02以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満
ふっ素およびその化合物		mg/L	8以下	0.2未満	0.2未満	0.2未満

※「小型焼却炉」「合併浄化槽」における実測値は、同一年度内に実施した全測定の前平均値。ただし、「未満」と記載のあるものは測定限界値以下を表す